

公表

## 児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	ゆにぞんほっぴ		
○保護者評価実施期間	2026年1月22日		～ 2026年2月26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	54	(回答者数) 36
○従業者評価実施期間	2026年1月22日		～ 2026年2月26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月26日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎日、静と動の活動をプログラムに取り入れている</li> <li>毎月、外出支援とクッキングを実施している</li> <li>運動/リトミックの道具をそろえている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一日の中で粗大運動と微細運動にアプローチをかけた療育プログラムを取り入れています。</li> <li>施設外でのルール把握と順守を目指して支援を行っています。クッキングでは食育をメインに調理器具の扱い方の習得に向けて支援を行っています。</li> <li>室内で運動やリトミックなど様々な支援を行えるよう、道具を充実させています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個別訓練の時間を増やし、さらなる個々へのアプローチ高めていきたい。</li> <li>戸外活動の機会を増やし、交通ルールや公共の場でのルール把握力を高めていけるような支援を行いたい。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>経験豊富な職員を配置している</li> <li>専門職による訓練の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>経験を活かした療育の提供や児童の気持ちに寄り添う支援の実施を行っています。</li> <li>専門職による発達進捗や適切な療育への見立てを立てて全職員が同内容の支援ができるよう取り組んでいます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スキルアップを目的とした研修への参加を行う。</li> <li>提携施設在籍の理学療法士/作業療法士との個別訓練を視野に入れていきたい。</li> </ul>
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>室内のメインスペースに仕切りがないため、遊びのスペース分けが難しい</li> <li>個室が少なく、個別訓練の同時実施が難しい</li> <li>トイレの数が少なく、混雑してしまう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設敷地が狭く、トイレも一つしか設置が出来ておらず、低年齢児もしくはトイレ実施児童はおまるを使用している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>可動式仕切りの導入</li> <li>トイレ/シャワー室の導入を検討</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>専門職の配置数が少ない</li> <li>心理士等による支援ができていない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童指導員/保育士の配置が多く、専門職の配置が少ない</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>専門職職員の増員を検討</li> </ul>
3			